

渚上市長僅差の再選！

やりたい放題の渚上市長！



過去最低の投票率で敦賀市の市長に再選した渚上隆信氏。有力対抗馬を2度も僅差で破ったと鼻高々に、2期目も「やりたい放題」。北陸新幹線開業目前の重要な時期に、市民の不安や疑念をもろともせず『渚上丸』はどこに向かうのか？

自己評価90点！ 着手率100%

現職対新人の一騎打ちとなった敦賀市長選は現職の渚上隆信氏が、前市議で新人の米澤光治氏にわずか701票差で振り切り再選を果たした。

度一般会計累計額は2月の骨格予算と合わせ315億7535万5千円、過去最高規模に膨らんだ。

新庁舎整備事業は総額53億7573万円、角鹿中学校区の小中一貫学校整備事業の小学校費16億6816万円、中学校費11億1210万円、人道の港敦賀ムゼウム整備事業に11億2051万円、運動公園陸上競技場改修事業に4億1651万円のほか今年度分として

「ハーモニアポリス構想」に3億6104万円、国道8号空間整備事業費1億3855万円、市道西浦2号整備事業費2億8400万円、駅周辺整備推進事業費3億2612万円、北陸新幹線周辺施設整備事業費4億2984万円、汚水管渠整備事業費2億6400万円等々、ハード事業が盛りだくさん。

渚上市長は4年前、経済回復と市民が主役の二つを目標にかかげ、市長選に再挑戦し、事実上の現職後継候補だった対抗馬を998票差でかわし初当選した。

再選出馬を表明するも有力新人が立候補すると分かると、1期目4年間を100点満点中、90点ぐらいと自己評価。公約は着手率1

00%と豪語し、前回と何ら変わりの見えない公約を掲げた。きつと、4年後も渚上市長の自己評価は最低でも90点、着手率100%に達しない。自信過剰、自己満足甚だしく、何とも言えない幸せ者だが、着手はしたけれどもどうなっているんだと言いたい。

ハーモニアポリス？ 小中一貫校?!

先の知事選で敗れた西川一誠氏に心酔する渚上市長は、西川氏のトップダウン体制を見習い、何事も思い付きで指示し、職員や市会はその振りに振り回された。初当選するや突如、「ハーモニアポリス構想」というものを打ち出し、